

# テニスのルールについて その1

JLTF 2022年中央エリア研修会報告書より抜粋（山中友子講師）

## セルフジャッジで大切なこと

- ・選手はスポーツマンシップに則って相手を尊重し、正々堂々とプレーし正確なジャッジをすること
- ・セルフジャッジの5原則を守る
- ・相手のジャッジを尊重して受け入れる
- ・どうしても相手の判定がおかしいと思うなら、RUを通して確認するのが良い
- ・相手の判断に不満があるときは、冷静に節度を守った態度で確認を行うことが大事
- ・試合中ヒートアップして相手に暴言などを吐かないようにする

## セルフジャッジでミスジャッジをし訂正した時

- ・1回目はポイントレット 故意ではない妨害（明らかなウィニングショットはポイント成立）
- ・2回目以降は失点 故意の妨害
- ・ペアで判定の食い違ったとき、失点するケースとポイントのやり直しになるケースの説明

①選手A「イン」選手B「アウト」⇒失点

②選手A「イン」選手B「アウト（すぐに訂正）イン」⇒レット

Q：ダブルスでレシーバーがフォールトをコールしたがペアが即座にインと訂正した場合はやり直し？

A：①のケース…やり直しではなく失点

※第2サーブがネットに触れた後レシーバーがミスジャッジをし訂正した時 第2サーブのやり直し